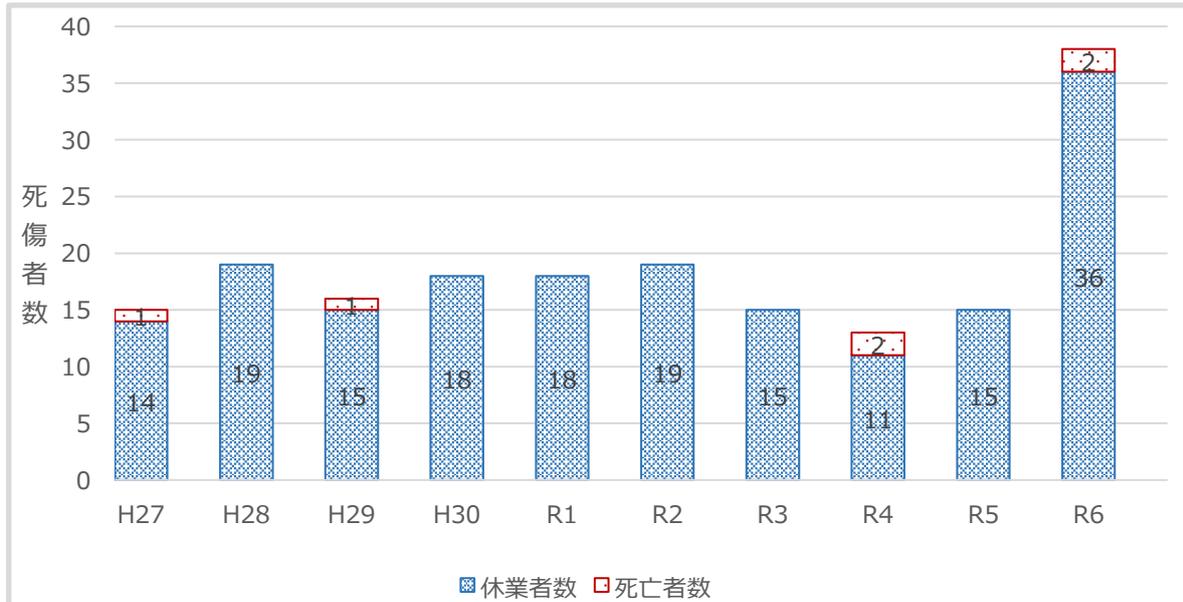


職場における熱中症による死傷災害の発生状況（鹿児島県内）
 （平成27～令和6年）

①職場における熱中症による死傷者数の推移

（人）

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
休業者数	14	19	15	18	18	19	15	11	15	36
死亡者数	1		1					2		2
計	15	19	16	18	18	19	15	13	15	38

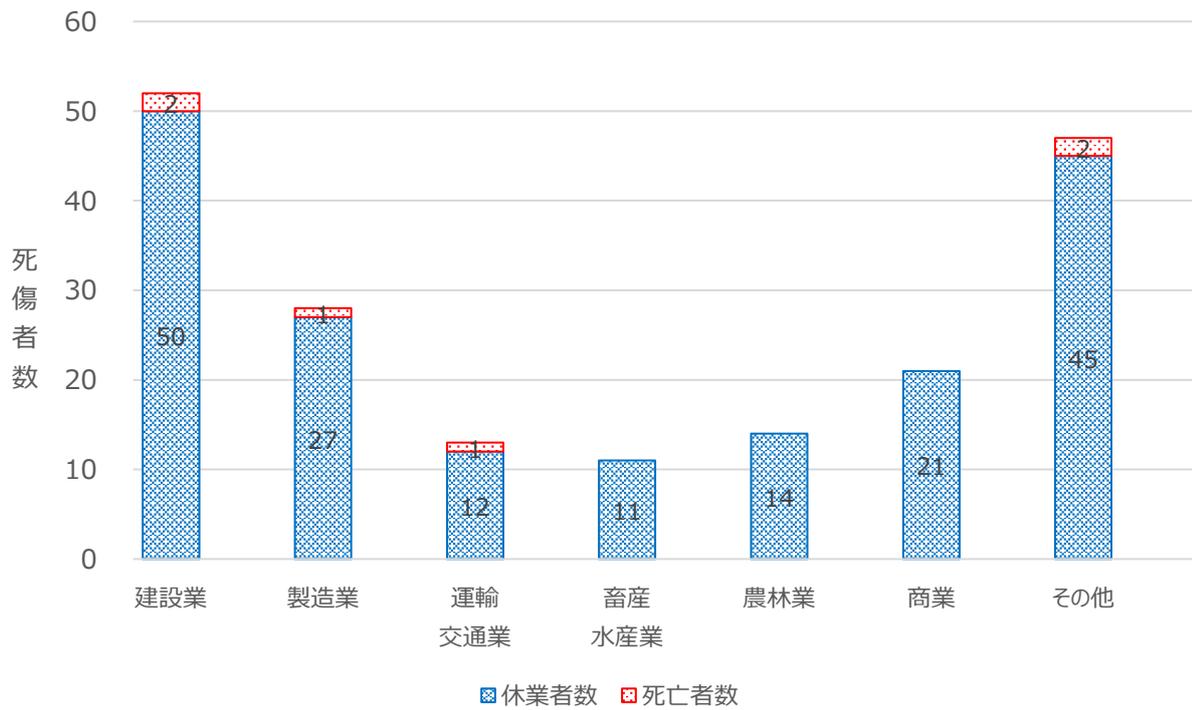


②業種別死傷者数

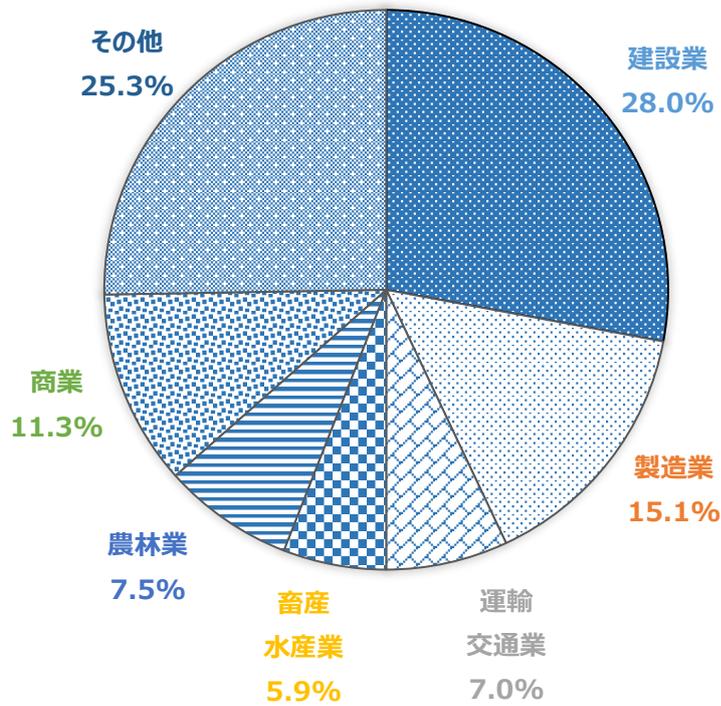
※（ ）内の数値は死亡者数であり、死傷者数の内数である。

	建設業	製造業	運輸 交通業	畜産 水産業	農林業	商業	その他	計
H27	7	2 (1)	2		2	1	1	15 (1)
H28	4	2	1			3	9	19
H29	6 (1)	1	2	3	3		1	16 (1)
H30	5	3	1		2	2	5	18
R1	6	3		1	1	3	4	18
R2	5	7	1	1	1	2	2	19
R3	6	2		1		1	5	15
R4	3 (1)	1	2 (1)	2		1	4	13 (2)
R5	3	3		1	1	3	4	15
R6	7	4	4	2	4	5	12 (2)	38 (2)
計	52 (2)	28 (1)	13 (1)	11	14	21	47 (2)	186 (6)

熱中症による業種別死傷者数



熱中症による業種別死傷者数の割合

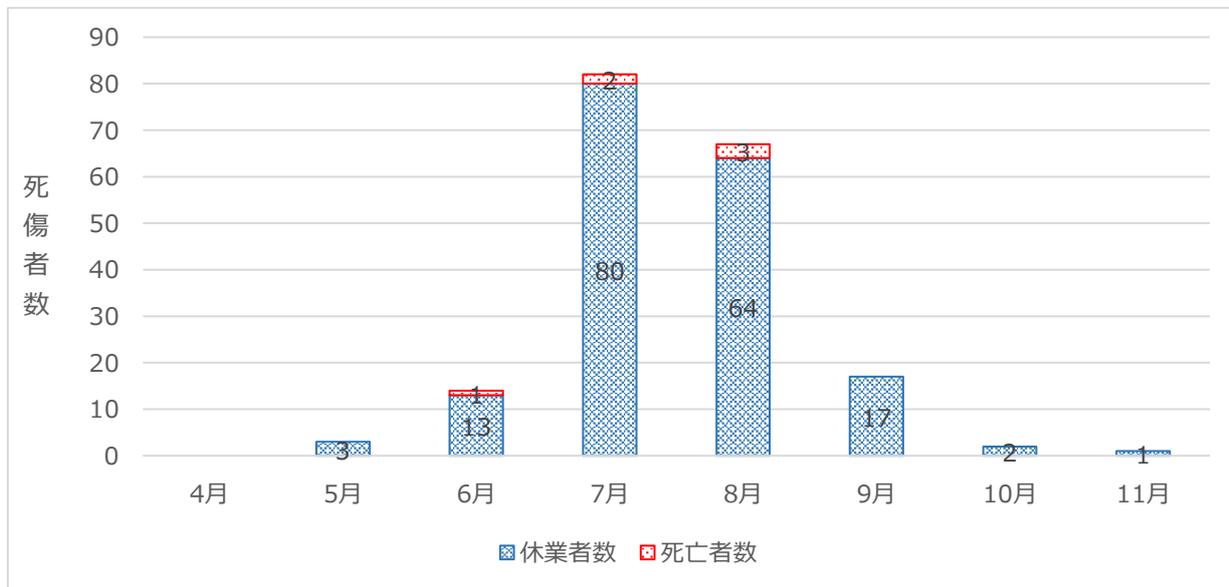


③月・時間帯別発生状況

(1) 月別発生状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
休業者数		3	13	80	64	17	2	1
死亡者数			1	2	3			
計	0	3	14	82	67	17	2	1

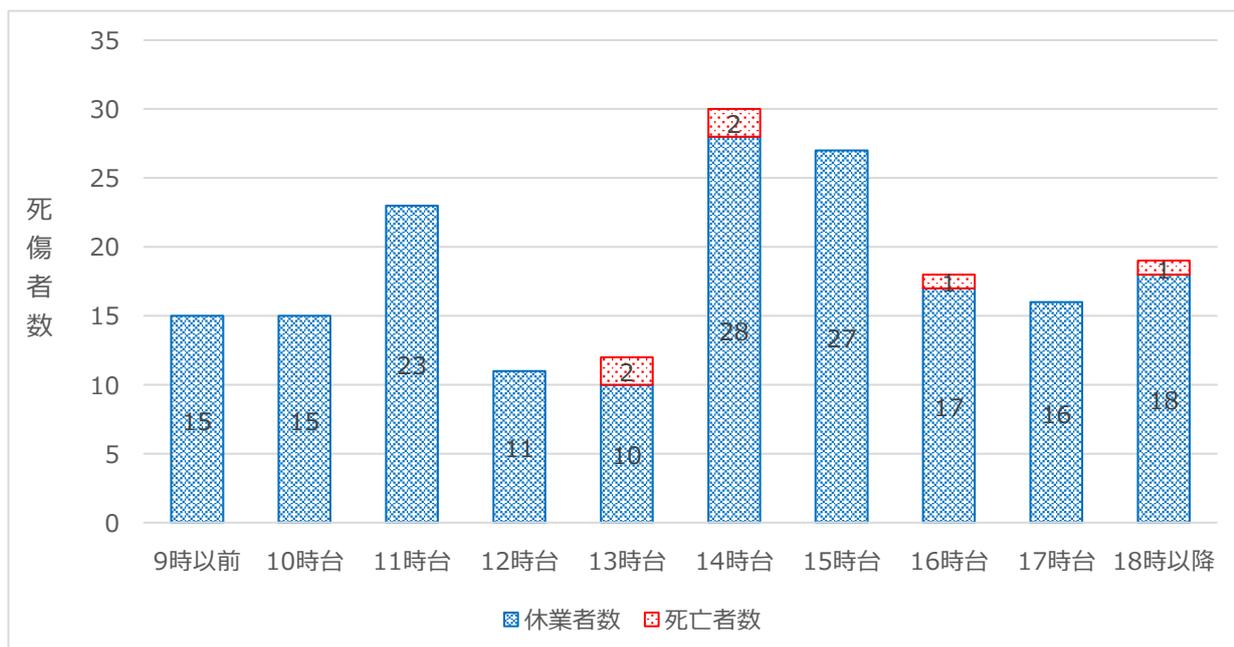


(2) 時間帯別発生状況

(人)

	9時以前	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時以降
休業者数	15	15	23	11	10	28	27	17	16	18
死亡者数					2	2		1		1
計	15	15	23	11	12	30	27	18	16	19

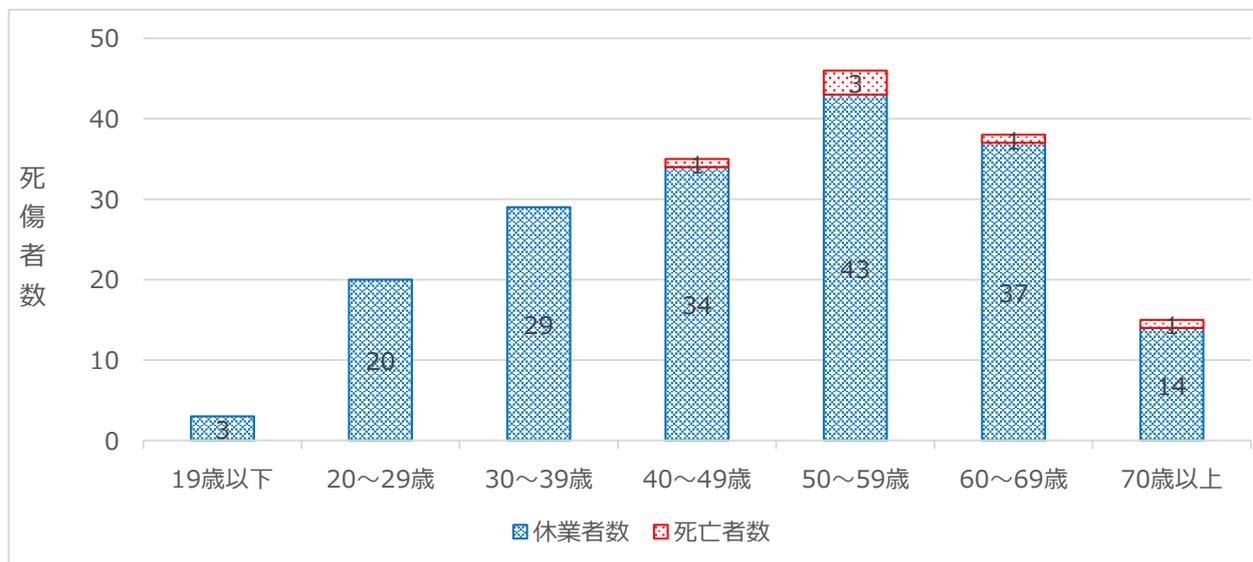
※9時以前は0時台から9時台まで、18時以降は18時台から23時台までを指す。



④年齢階級別発生状況

(人)

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
休業者数	3	20	29	34	43	37	14
死亡者数				1	3	1	1
計	3	20	29	35	46	38	15



⑤熱中症による死亡災害の事例

年月	業種	年代	事案の概要
平成27年7月	食料品製造業	50歳代	工場内で12時まで飼料の製造作業を行い、休憩後引き続き同作業を行っていたところ、14時20分頃意識障害を発症し、6日後に死亡した。なお、工場内の温度は約38度であった。
平成29年8月	土木工事業	50歳代	道路脇の草刈り作業中、16時20分頃、被災者が酷く疲れた様子であったため休憩するよう指示したが、その後近隣建物の駐車スペースにおいて意識不明の状態で見つめられた。病院に搬送されたものの3日後に死亡した。
令和4年6月	土木工事業	60歳代	個人住宅の外構工事において、コンクリートの打設作業、片付け作業を行っていた被災者が、体調がすぐれず休憩をとっていたところ、倒れているところを見られ、救急搬送されたが熱中症による死亡が確認された。
令和4年8月	道路貨物運送業	50歳代	野菜の洗浄作業を行っていたところ、熱中症とみられる体調不良により病院に搬送されたが、同日死亡。発生時の気温は29度～30度。湿度も高い状況であった。
令和6年7月	その他の事業	40歳代	廃棄物処理施設新設現場にて、被災者は午後2時頃から施設内で性能試験を行うためのサンプリング作業を開始し、午後4時40分からは不織布の保護衣、防じんマスクを着用して、約1時間かけてごみのサンプリング作業を終えたところ、体調が悪化し、ろれつが回らなくなったため救急車で病院へ搬送された、同日午後9時24分、搬送先の病院で熱中症により死亡した。
令和6年8月	その他の事業	70歳代	被災者は午後1時頃から気温約40度の屋外で原付講習の補助業務に従事していた、30分後に休憩時間となり、休憩をとるため徒歩で事務所に移動していたところふらついたため、近くにいた職員が支えたが、意識が朦朧としていたことから、救急車を要請し病院に搬送した。病院で加療していたが、2日後に死亡した。